



第五卷 第一号

発行所 方城村公民館  
編集発行人 荒木良和  
印刷所 日本講演文化協会印刷局  
(西尾印刷有限会社内)

- ◇原稿募集◇
- 論文隨筆創作文藝評論何んもで建設的なもの(取捨は編集部に一任)
  - 詩歌俳句川柳一人二首二句
  - 投稿〆切毎月五日
  - 投稿先方城村公民館

# 年頭の辞

方城村長  
松井 肝太

講和條約も締結され、やがて批准により、日本も完全な独立國家として、自由諸國の一員となる、紀念すべき一九五二年の新春を迎えました。幸多き方城村の新年を壹万五千五百の村民各位と共に、祝願いたします。方城村公民館発行の廣報、私はこれを「方城」と名付けたと思います。これを如何に利用し、如何に意義あらしめるかは、かゝつて村民全体の責任であると、私は云いたいのであります。

勿論第一次責任は、私達公民館にたずさわる者にある事は、論ずるまでもありません。役場も、会社も、農協も、共済も、あらゆる村内の團體が、最も高度に利用し、民意の反映も、公民館廣報「方城」を通じてより良き理想郷、方城村の建設に邁進したいと思ひます。

私も就任して八カ月を経過いたしましたので、村行政の大体もわかつ



て参りました。昭和二十六年を回顧いたしますと、四月選挙で、首長も、議会議員も大多数の新人を迎え、村政研究の年でありました。生きた村政への希望や、信念が、私達村をあげたる者の胸中に、躍動しているのであります。

役場廳舎の拡張も完成し一堂に全機能の活動により、事務能率の増進も期待されることになりました。

中学建設の大事業も、迂余屈折はありましたが、去る十二月五日、入札執行され、特別教室延二九四坪の建築も、今、鶴岡原頭、明日の

教育へ高々と種音を響かせています。これが完備には、講堂、運動場と將來年次計画による、幾多の問題が残されています。公民館の整備も一應完備いたしましたので、本年から愈々其の眞生命たる、活動面に主力を傾注したいと思ひます。

土木建設に、産業振興に、愈々実行の年であります。

村建設の目標……それは健康、明朗の旗印のもとに邁進したいと思ひます。健康……村人も、何より健康第一と考へます。陳腐な言葉ながら健康なる身体に、健全なる精神が宿ると云われていますが、健康なる村即ち、財政にも、思想にも、あらゆる分野に於て、健全なる事こそ、本當な理想郷と云ふのであります。

役場も組合も、村人も、会社も、日々の生活の樂しみにしたり、信頼と平和を獲ち得てこそ、健康そのものゝ村が、生れるのではないでしょう。か。明朗な村政、それは近頃いわれ所謂ガラス張り政治であります。村民自らの政治こそ、本當の自治

## 公民館運動の回顧と展望

副館長 高津 久雄

新しい年を迎えると何にか知らん生々とした気分と今年こそはと云う新しい希望を持つ、殊に永らく占領軍政下にあつた吾等の祖國日本が講和條約の締結に依り更生日本としてスタートせんとする明るい意義あるこの昭和二十七年の新春を迎へ一入其の感を深くする。これは恐らく私獨りが持つ感想でもある。この祝福に満ちた年頭に際し吾が方城村公民館が開設以來歩いて来た跡を靜かに回顧し、將來への発展を展望して見ることも、強ち徒事ではあるまい。昭和二十二年十月に方城村公民館運動が初められてから、もう四年有

であります。役場や議會だけの政治でなく、民意を反映した政治こそ、明朗村政と云われるものであります。

執行機關、決議機關と、それぞれ職務の相違こそあれ期する處は明朗村政にあるのであります。各機關の緊密なる連繫こそ村政向上の要訣であります。

ガラス張り政治、それは予算の明確化と、執行上兎角の批難のない事であります。それは尺子拘り規的な、發展のない政治を意味するものではありません。優秀な議會の審議能力と、強力なる執行者の推進力と、卓抜なる補助機關の活動とが相まつて方城村の發展は期せられるのであります。

和解と、信頼とが、村全体の生命となり、健康で明朗な方城村建設の使命に眞に公僕精神に徹した民主役場に専念いたしますので何卒、方城村明日への飛躍に御協力賜わらん事を「方城」発刊に際しお願い致します。

余ヶ月になる。昭和二十五年十一月三日の文化の日に当り、吾が方城村公民館が縣下の優良公民館としての表彰の榮譽を担うた。公民館運動が発足してから日ならずして表彰を受く事に至つた爲、村内有志のある人々の間に於ては此の事實を評して内容があつて表彰を受けたのではなく宣傳が利したのだと云う人もあつた。之は物の見方、考へ方の相違だと思ふ。それを否定することは困難であるが、嘉穂郡の庄内村公民館、鞍手郡の宮田町公民館等からはるばる視察に來た人々の目に映じた吾が方城村公民館運動の実情は必ずしも低

調でないことが保証された様である。公民館運動の目的が民主主義の普及徹底に伴う村民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り之に依り生活文化の振興と社會福祉の増進に寄與しようとするにあることから考へて未だ文化方城村の実態を有せぬ。い迄も文化村意識が村民に強く深く植付けられて行きつゝあることだけでも採り上げてよいと思ふ、ものだけの評価はすべからず遠方から見ることだ。

方城村が各種の選挙に於て投票率が常に郡内第一位の成績を示し度度に互る表彰を受けるに至つた実績や、毎年二千万円を上廻る村税の納税成績が縣下有数の好成績を示しつゝあること、町村長の命取りと迄云はれる供出米の成績に於ても亦每期完遂の成績を誇示していること、文化の象徴の如く二期に於ける教育事業の振作、春秋二期に於ける全村的道路愛護行事の実施の美風、衛生思想の普及、戦後一般の風潮に因る青少年の不良化の防止に対する施策、教養施設としての村營図書館の設置、農村振興機關としての農業會館の設置等々……挙げれば公民館運動の実績として惜むべきものが尠くないと思ふ。論より証拠である。

今、目に映する施設の一つ一つを拾い上げてそれが判然として来る。村の中央に位する白堊の村役場の著しい近頃の更替方が先ず人の目を惹く、役場正面に新築された農業會館兼公民館本館、それから診療所の拡充整備、村内各部落に点在する新築の二十有三の公民館の設置、農作物に対する病虫害防除施設としての噴霧器、撒粉器の三十有五農事組合に対する配付、畑、弁城、古門地方に於ける農村電化の施設、殊に近時著しく向上して來た各農家の文化生活の意識成長が目を惹く、村の中央を南北に走る縣道直方、伊加里線の改修も緒に就き、既に中原迄延びて來

(以下次号)